

〔付〕地域社会・研究分科会の研究員と研究経過等について

1. 研究員

地域社会・研究分科会は次の板橋区職員と大東文化大学教員である。

板橋区: 安井 健康いきがい部長	大東文化大学: 渡部 経済学部教授
小池 企画調整課主査	安 法学部教授
富澤 商工振興課係長	中村 法学部教授
杉谷 建築指導課係長	東田 法学部教授

2. これまでの研究経過

平成 12 年度は、当分科会は 9 月に発足して次の活動を行った。

9 月 20 日 今後の活動方向について意見交換

10 月 25 日 要援護高齢者への施策(在宅サ-ビス、入所サ-ビス、その他)とこれに対する区民の評価とニ-ズの把握方法について検討

11 月 22 日 健常高齢者への施策(遊ぶ、学ぶ、働くの3分野)とこれに対する区民の評価とニ-ズの把握方法について検討

12 月 16 日 区民へのアンケート調査の項目について検討

12 月 25 日 3 分科会全体会

1 月 16 日 3 分科会代表者会議

1 月 24 日 年度末へ向けた当面の予定等について検討

1 月 29 日 板橋区内福祉施設等を視察

(板橋区おとしより保健福祉センタ-、老人保健施設ロイヤル・ケア・センタ-、区立特別養護老人ホ-ムいずみの苑、余裕教室転用施設はすのみ教室)

2 月 17・18 日 湘南セミナ-ハウス(平塚市)で3分科会合同合宿研修

(板橋区から高齢者福祉行政の現状等についての講演と質疑、中間報告の研究員別担当項目の検討等)

3 月 区民へのアンケート調査実施

3 月 10 日 地域デザイン・フォーラム「講演とシンポジウム」

3 月 24 日 公開ゼミナ-ル「高齢者が老後をどう生きるか」